

第 49 回 俱知安町地域公共交通活性化協議会 顛末

日 時：令和 7 年 6 月 23 日（月）13:30～15:05

場 所：俱知安町役場 2 階会議室

出席者：別紙名簿のとおり

発言者	内 容
事務局	<p>開会</p> <p>委員 21 名中、18 名の委員が出席し、協議会規約第 12 条第 2 項の規定に基づき本協議会が成立。</p>
会 長	<p>会長挨拶</p>
事務局	<p>議事に先立ち、委員の変更に伴い、席上にて新しい委員に対し、委嘱状を交付いたします。</p> <p>また、監査員については、昨年度監査員を務められた佐藤委員から高橋堅一郎委員に変更となったため、本日欠席でありますが高橋委員に引き継いでお願いしたいと思います。</p>
会 長	<p>これより議事に入ります。まず、議題の（1）について事務局より報告します。</p>
事務局	<p>令和 6 年度の事業報告及び収支決算について説明（資料 1）</p>
会 長	<p>ただいま、（資料 1）について報告がありましたが、ご質問等ございませんか。</p>
会 長	<p>続いて、議題の（2）について事務局より報告します。</p>
事務局	<p>令和 6 年度のじゃがりん号運行結果について説明（資料 2）</p>
会 長	<p>ただいま、（資料 2）について報告がありましたが、ご質問等ございませんか。</p>
会 長	<p>質問がなければ、次に議題の（3）の令和 7 年度運行事業方針案及び当初予算について、事務局から報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p>令和 7 年度運行事業方針案及び当初予算について説明（資料 3）</p>

会 長	ただいま、(資料3)について報告がありました。ご質問等ございませんか。
会 長	次に議題の(4)の地域交通事業について、事務局から報告をお願いいたします。
事務局	地域交通事業について説明(資料4)
会 長	ただいま、(資料4)について報告がありました。ご質問等ございませんか。
委 員	資料4-3のじゃがたくの南部地域での拡大について、町民からの要望があったのか、町として提案したのかを教えてください。
事務局	南部エリアの方の要望としましては地域住民の声をすりあげたかたちで議会でも取り上げられているところでございます。特に冬季、路線バスが走っていただいているんですけど観光客の利用が多いというところでバス利用が困難になっているといった側面もあるといったところをご意見としていただいていたところであり冬季のじゃがたくの運行エリアとして検討しているところであります。
会 長	他にご質問はありますか。
委 員	資料の1-3の町民向けタクシーの確保事業の補助金について、予算に対して決算額が大幅に減額になっていますが、資料の3-1で7年度の運行事業方針に町民向けタクシー2台~3台確保というところで、3台というところまで、次のページの予算では計上していらっしゃるのか。または7,208,000円という予算額は2台なのか3台なのか、そのへんのところと、リミッターがあるのかわかりませんが、売上がどれくらいあがれば減額になっちゃうのかお聞かせ願います。
事務局	町民向けタクシー確保事業の中身についてということで、令和7年度予算でございますが、こちら予算計上の段階におきまして、まだ当然運行事業者等々のやりとりがでてくるところでございますが、予算計上の計算額としましては、3台の運行を想定しているところでございます。また、運行時間等や予約状況等の計算もふまえて、昨年度の数字よりも少し収まっているというようところであります。なお、今年度大きく事業費の

	<p>方が減っているというところでございますが、こちらにつきましては当初想定していた台数が3台から2台に減少したこと、あわせて運行日でございますが、当初想定していた時よりも時間が短くなった、運行出来る日にちが減ったということで事業費の減少となっております。以上でございます。</p>
<p>会 長</p>	<p>他にございませんでしょうか。なければ議題（5）について事務局から報告をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域公共交通計画の認定申請について説明（資料5）</p>
<p>会 長</p>	<p>ただいま、（資料5）について報告がありましたが、ご質問等ございませんか。なければ、軽微な変更、提出までありましたら、その際は事務局に一任させていただきたいと思っておりますけれどもよろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。 それではそのような形で提出させていただきたいと思えます。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは議題（6）について事務局から報告をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後のスケジュールについて説明（資料6）</p>
<p>会 長</p>	<p>今後のスケジュールについて何かご質問がありましたらお願いいたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>よろしいですかね。それでは一通りの議事内容についてはと本日これまでなんですけれども、この協議会での議題というのはこういったかたちで、じゃがりん号を中心にどちらかというと住民の足の確保という部分の内容になっております。けれども、皆さんご存じのとおりこの倶知安ニセコエリアは20年以上前からどんどんリゾート開発が進められております。そうした中でこれまで全然休むことなく開発が進められて今日に至っているという稀な地域なのかなと思っております。それもそのはずですね、実はデータの的に宿泊施設、各施設の集計している定員数というのがあります。このデータを見ますと10年前で、9,000ベッドという収容人数になっております。ちょうど今は10年前の2倍の18,000ベッドとなっております。10年間見ただけでもこれだけ宿泊施設が増えている。従って、冬季のお客さ</p>

	<p>んは外国人の方々が中心ということでマイカーは当然持ってきていない。こっちで調達するかレンタカーかバスかタクシーかJRかという形になっております。ですからそういった部分で公共交通ありとあらゆるところで総動員して今日に至るということですのでけれども当然ながら若干追いついていないというところがございます。しかしながらですね、さらにまだまだ計画が進められているところですのでそういったところでどうやって対応していくのかといったことも控えております。この場以外のところでも色々な場面でご協力やお知恵をお貸し頂いたり様々なお力添えをいただくことかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>それではですね、全体を通して副会長の方から一言いただけたらと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>私がお尋ねしようと思っていたところを今、町長さんが見事にふれられました。私もこちらにお手伝いをさせていただいてもうだいぶになりますが、このようにどんどん観光開発が進んでおりますと地域交通というやはり地域住民のための交通サービスの他に観光客の需要をどうさばっていくかそろそろ本格的に対応を考えていかないと大変なことになっていくんじゃないかとちょっと気になっているところでもあります。なのでグッドタイミングでそうゆうご発言をされたところでもあります。それから、もう1つですね、それに合わせて需要側についての心配ということと一方サービス側の技術開発も近年かなり進んでおります。よその地域を見ますと、それこそよく話題になりますドライバーのいないタクシー、自動運転の。サンフランシスコあたりではそれが当たり前というくらいになってきている。そういったような技術開発の進捗状況をふまえながら地域住民サービスとしての交通システムの整備と観光需要の捌きとをそろそろ考えなければいけない時期かなという気がしているところがございます。</p> <p>また、それに関連して、事務局さんに一つだけ確認したいことがありまして、最初のじゃがりん号の回数券・定期券の販売枚数 定期券提示者数の推移のグラフですけれども、何でこのようなことを気にするのかというと、最初に申し上げたことに関係するのですが、回数券・定期券の販売枚数というのはそれほど減っておらず横ばいとなっておりますが、一方で定期券の提示者数がガクッと減っているわけですね。この意味するところはなんぞやと思うわけでございます。一人あたりの交通行動の頻度が減ったのか、単純に考えればそういうことであろうかと思えますね。あるいは住民の方が減った。おそらく住民の数はそれほどは変化はしていないわけですね。そうすると1,500人単位の方が減ったというのは本当にそうなのか。</p>

	<p>もしそうだとすれば私が先ほど申し上げた、住民需要を考える上での派生する交通需要の先の見通しをどう読むかというところを考えなければいけないですね。そうではなくてたまたまこれがチェックの仕方がちょっとね、十分なところがなくて提示をして頂ける数が少なくなったものやら、実態を反映しているのかどうなんだろうと気になるところでございます。さらに言えば、将来の観光需要に対応すると考えれば、乗り降りのときの乗車のチェックと料金收受というのが少し従来型ではないように工夫するしかないのではないかと。もっと言えば、乗るときに行動として定期券を見せるのではなくて、今はもう一定のラインを超えたら自動的に検知するシステムがいくらでもありますから、そういうことでチェックをする。そういうことも将来的には考えていく。つまりたまたま持ってなくても乗ってしまいました。じゃあしょうがないから乗ってくださっていいですよという数がこんなに極端に増えることはないと思うのでチェックの仕方がちょっと十分じゃないところがあるかなと。結論にいたると、さっき申し上げましたけれども、将来のこと考えればいちいち、はいチェックしますよだとかなんとかという行動をしなくても、まあ持ってれば見せなくても、自動的にそれをチェックができて、自動的にカウントができて、しかも将来増加するであろう観光需要に対応する方法として考えれば、言葉でどうだこうだなんて言わなくてもですね、自動的にチェックして料金收受が生まれると、まあ、今は電子媒体で何でも、もうそういうことになっているわけですね。それぐらいのシステムを、そろそろ考えた方がいいのかな、というような気がしてきたということでございまして、将来に向けた、対応ということをそろそろ頭の中にイメージしたほうがよろしいのではないかと。こういうような、将来に向けたことを観光の対応ということを考えようというのは、倶知安町であればこそですよ。それがもう現実のものになっているということかなと非常に今日的な場面にそろそろなってきたのではないかとというのが感想でございます。以上です。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>事務局</p>	<p>定期券の利用者数の提示者数の件につきましては、カウントの仕方としては変更なかったと思いますので、最後精査を加えさせていただければと思います。また先生の方からのご意見いただきありがとうございます。確かにですね、今の地元の事業者様、それからタクシー事業者のバス事業者様を合わせてですね、観光客対応というところで、キャッシュレス決済の手続き、非常に進めていただいております。アプリの搭載であったり、キャッシュレス決済というところで、進めていただいておりますので、じゃがりん号につきましてもですね今後より検討を進めてまいればと思いますの</p>

<p>会 長</p>	<p>で、よろしくお願い致します。</p> <p>ありがとうございます。キャッシュレスも含めてなんですけども、今回あの北海道新幹線がね、これだけでもはっきり言って、せっかくカウントダウンしてたと思ったら、ずいぶん先になってしまったということだったんで、町からの要望としても、今冬場本当にあの在来線を使っているお客さんが多いんですね。冬のね、外国人の旅行者が大きな荷物を抱えてですね、乗り込んでいる、そして乗り切れないぐらい。一回は本当に余市で乗り切れなくて、札幌までも小樽に行くのにもね、そういったことも事態として起きた、というところでございます。そしてなおかつですね、キャッシュレスでないということですね、これだけ伸びるんだったらなんとかしてもらいたいところでございます。まあ、そういった部分で、今、バス会社の方もあのいろいろやっていただいておりますし、今のニセコエリアの中では、バスが今現在どこを走ってるんだということもですね。観光協会等の連携を持ってですね、今、そういったことも取り組んでいるところでございます。いずれにいたしましても、観光客はこれだけ先ほど言ったようにですね、どんどん増えてきておりますので、しっかりと倶知安町とニセコ町、特に宿泊税導入しておりますので、ニセコ町もいよいよ始まりましたので、そういった、しっかりとした財源を活用してですね。公共交通にこれからどんどん力を入れていかなければならない時代、もうまきに入っているんだというふうに思っておりますので、まあ、そういった部分で、新たな技術も含めて、将来的な展望を持った中で、これからも構築してまいりますという考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。</p>
<p>会 長</p>	<p>その他みなさんから何かありますか。</p>
<p>委 員</p>	<p>皆様にはいつもご協力いただきまして本当にありがとうございます。</p> <p>実はあのこういうことを言うのは失礼かと思うんですけども、あのこれってね、無料にならないんですか、じゃがりん号というのは。要するに乗る方というのは90%以上は倶知安町民の方ですよ。今の財源の問題も宿泊税とかあるのでいろんな問題でカバーできると思うし。で、今の国会でもね、問題になっているのは免税の部分で、要は為替の関係でもう日本に来たら安く食べれる。そしてなおかつ免税があるということで、今、免税を廃止しようという考えもあるんでね。で、あの赤いバス（循環シャトルバス）は無料なんですよね。それでなんで日本人から100円取るの？そのお金を取るというのはちょっとおかしいなって思うんですよ。その辺をちょっと聞かせてもらえれば。知ってるのか知らないのか。赤いバスが無料</p>

<p>会 長</p>	<p>で地元の方からはお金を取るという、ちょっと道理に反していると思うんですよね。はっきり言って、やっぱり町民あつての町財政だと私は思うんですよ。そこで何十年、50年も60年も2代3代として倶知安町民で一生懸命働いた方に。やっぱりタダにした方が、私はいいと思います。</p> <p>今、即答できる話ではないんですけれども、そういった考え方というのも本当に今後ですね、公共交通って、どういうふうな役割を持つんだ、ということも含めてですね、考えた上ではそういったこともあるなんだろうと思っております。ただ、どちらかという、やはり何でもこれって町民みんながですね、利用しているわけではなくて、必要な方だけ、ね。利用データを見る限りにおいてもそうですし、一部の人たちだけなので、やはりタダっていう感覚というのはまずないしある程度のちゃんとした収益を得ている人たちは、ちゃんとしたお金を料金を取ってっていうのが、基本的な公共性のものをやる場合にはですね、まずは普通のやり方だと思っております。ただ、本当にあの政策1つ、なんで、そういった考え方を持ってですね、今まさにそういったもっと自由にスムーズに乗れるように、そしてもっと広範囲に乗れるように、という形を重視するならば、あり得る話だと思います。ただ、車両が足りるかっていうね。今の小型のちっちゃいやつで足りるか、まあ、それだけ需要があるかということもあるのかもしれないんですけれども、タダになればですね、人間やっぱりタダ、ってなるとすごく全然変わると思うんですよ。今百円だからすごく安くて利用価っていいはずなんだけれども、払うのと払わないので相当変わるのかなという心理的に違うのかなというふうに思うので、そういった部分も、この今後の検討課題としてさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。ありがとうございます。</p>
<p>委 員</p>	<p>あの今の話にも関連もしますし、やはりあのちょっと倶知安さんの公共交通に対してのお考えというのを、ちょっと確認させていただきたい、という事案が最近あったものですから、ちょっとこのままお時間を借りて発言をさせていただきたいと思っております。ただその前にあの弊社事業運営に皆様にもご協力賜り御礼申し上げます。ありがとうございます。本当に倶知安町様には、当社のさまざまな相談事に対しても真摯にご対応いただいていることに関しては、本当に感謝申し上げます。あの過日新聞報道にもありましたけれども、当社では去年の冬あたりから、乗務員不足というのが本当に深刻になってまいりまして。まあ今本当緊急対策ということで、この春からはいろんなことをやっております。ですので、まあ、これまで夏に運行してきましたスカイバスニセコですねえ、この関係もちょうと当社今年はずみません、乗務員がいないので受け取ることができません</p>

ということでお話をさせていただいた。まあ、これは観光協会さんでありますけれども、させていただいたところでもあります。そうしましたら、先日、観光協会の方がいらっしやいまして。まあ、スカイバスニセコは諦めましたと、ただその代替としてスカイリゾートシャトルニセコという無料バスを走らせるというふうなお話を賜りました。あの運行内容を私どもの方にも確認させていたならば、倶知安ひらふウェルカムセンター、そしてあの倶知安町の行政区域を越えて、ニセコ町さんの高橋牧場さんまでのところを、日中帯も無料でバスを走らせるということで、まあ弊社が通年運行をしておりまして、路線バス、倶知安線とほとんど経路がかぶると、利用者は重複するというものでございました。それを無料で運行する、先ほどもありましたけれども、観光客の方に無料で運行する。かたや、当社のバスの利用者はお金を取るという部分がありますので、まあ、やはり無料の方に流れる。あの当社の路線バスにも、大きな影響があるのではないかと考えております。また、逆にこれ有料で運行したとしても、当社がもうすでに走っているのに、さらに敵対する路線バスを作るのかということも感じて。いずれにせよ影響があることはもう明白でございます。また、この無料バスの運行には先ほども出ましたけど、宿泊税を活用するということかと思っておりますので、おそらくこの運行内容倶知安町さんもお承認の上で、これはきっと対応されるんだろうなというふうに思っております。当社の倶知安線、正直に申し上げていいとこ取りはしておりません。夏は非常に利用が少ない、一桁のご利用でございます。でも頑張って運行しております。ましてや4月11日、全くお客さんがいないときも我々は走っております。通常運行しております。こういうことを考えるとこの倶知安線というのは、倶知安町内の公共交通の1つなのではないかというふうに、我々は自負しております。ただ、今回の無料運行でこの公共交通に影響が出ると、今の先ほどもありましたけど、住民の方々は有料で観光客が無料になっていくということも、関連するんですけれど、倶知安町さんとして、この公共交通に対するお考えといいますか、観光客は無料にする有料にするもしくはなんていうんでしょうか。通常運行で頑張っているところでは、あえて無料バスをぶつけるこの部分についてどのようにお考えなのか、今回の、無料バスについて、路線バスへの影響というのはお考えにはならなかったのか、その部分はちょっとぜひともお話を聞きたいと思っております。先ほどのニセコモデルの関係もありましたけども、我々地元事業者、今、乗務員とかがいなくて非常に苦しんでおります。おそらくタクシーの方だって、台数を増やしたいんだけど、増やせないという状況なんだと思います。だから外部から起こってくるそれは非常に大事なことになるのかもしれないけれども、我々、地元事業者への影響というの、どのように考えていらっしゃるのか、ちょっとぜひともちょっと今回の件については、

事務局	<p>ご意見を聞きたい、お考えを聞きたいと思って発言させていただきました。申し訳ありません。よろしくお願いいたします。</p> <p>ご意見ありがとうございます。ええ、まず大前提としまして、町と公共交通のあり方というところになってくるかと思えます。当然町としまして、地域の足の確保のために行います事業が既存路線の経営圧迫につながらないように進めていくという大前提であると思っております。日々事業者の皆様、地域の足確保に向けてご尽力いただいていることを、間違いなくこの場をお借りしてお礼申し上げるとともに、決してその圧迫につながらないという、圧迫をしないように、というように進めていくのが大前提と考えております。また今回の本件の関係でございます。先ほどニセコバス様からもお話がありましたが、乗務員不足もありまして、当初予定していた、路線の方の変更があったと観光協会からも伺っております。その中で本件ニセコバス様観光協会様とのバスの調整不足があったところの反省をしているところでございますが、我々もですね正直、その具体的にここの路線の無料化というところを伺ったのは、ずっと前からというわけではなかったという中での調整不足があったかなと考えております。繰り返しになりますが、地元事業者様、こうやって足を確保していただいていることに対する圧迫につながらないよう、というところを念頭に置いて進めてまいり、今後も進めてまいりたいと思っております。実はその中で、先ほど千葉先生からのご意見がありました、それから、国際交通様からのご意見があったと思えます。地元利用の住み分け、観光利用との住み分けというところも出てくるかと思っております。今回の倶知安線との、競合するスカイリゾートを運転ということで、昼便と夜便があるかと認識しております。昼間が3カ月ですか？で、夜間が23日間の限定運行というような形になっておりまして、倶知安駅基準の発着時刻で申し上げますと、倶知安線とほぼ全便1時間程度のずれがあるという中での時刻設定と確認をさせていただいております。またメインターゲットとなります、観光客の利便性向上という意味では、各国協会様の取り組みとして、今回無料化というところがあったのかと、こちらの方で受け取っているところでございます。今後ですね、地元利用の方というところを、当然、我々もそこで考えていかなければなりません。そのために、先ほどじゃがたくのご提案させていただいたところでございます。で、その中で冬に向けた検討を進めていく中で、引き続き路線バス事業者様、タクシー事業者様合わせてですね、検討調整をさせていただければと思っております。また合わせてニセコバス様からもお話がありました。乗務員不足、または整備士等を含めた中での人材不足という形になるかと思えます。こちらにつきましては、交通業界のみならず、すべての産業業界の人手不足というところが顕著にな</p>
-----	---

	<p>っているところでございますが、こちらに向けた人手不足解消に向けた取り組み等につきましても、各交通事業者様との連携の中で、いろいろ取り組んでまいればと思っておりますので、よろしく願いいたします。事務局から以上でございます。</p>
委 員	<p>申し訳ありません。我々の路線の影響については、どのようにお考えだったでしょう？影響はないというふうにお考えだったということなんでしょうか。</p>
事務局	<p>今回のこの無料化の動きに関しての影響があるかないか、というところの判断まで、正直、観光協会様との煮詰めができていなかった、というところでございます。なので、町としてもですね、あの本当に繰り返しのようになりますが、経営圧迫につながらない事業を行っていくというところでございますので、今後もですね、調整不足につきましては、反省をしながら経営圧迫をしないように、かつ生活利用者やそれから観光客の皆様が使い勝手のいい交通の立て付けというところで検討を進めてまいればと思いますので、よろしく願い致します。</p>
委 員	<p>打診があったんですか？</p>
委 員	<p>スカイバスはできませんと答えました。</p>
委 員	<p>そしたら、できませんって言った時にどういう形でやるという、そういう話になる。</p>
委 員	<p>まあ、この間初めてきてこれで運行しますみたいな感じで。いやわかりました。ええ、わかりました。大丈夫です。</p>
会 長	<p>あのその辺ですね、ちょっとあの我々の確認まだしきれてないところもありますので今後。</p>
委 員	<p>もう運行されることについては、とにかく言いません。ただ先日、後志地域公共交通活性化協議会の時に、あの何先生でしたかね？おっしゃってたんですけども、観光産業というのは、地元の産業の上に成り立っていることを忘れてはいけない、という発言がありました。公共交通の維持は、観光客のためにも大事なんだというお話がありましたので、ぜひともちょっとそのこれで我々地元事業者が頑張りますので、今後ともよろしく願いしたいと思います。</p>

会 長	ありがとうございます。他にありませんか。
委 員	<p>ちょっと話は全く変わってしまうんですけども、私からはお願いです。資料の4-1に書かれていました、ニセコモデルの関係になります。あのさまざまなおところから応援隊派遣されて、車の台数が多くなっているというのは、私も見てよく感じるおところでありました。ナンバーを見ますと、札幌ナンバーとか青森ナンバー、東京ナンバーのワンボックスの車をよく目にしております。ここでちょっとお願いなんですけれども、あの地元のタクシー業界の方たちはやっぱり地元の雪の状態、あとは道路環境の状態をよく理解して安全運転に努めて、お客様を搬送しているというのも確認しております。ですが、ある事例を紹介します。道路はですね、道道の蘭越ニセコ倶知安線、あのニセコひらふのおところですね。あそこで交通事故3台がらみの交通事故が発生しました。けが人何人か出ております。実はこの中にですね1台タクシーが入っております、速度超過が確認されております。制限速度を大幅に超える速度超過で、アップダウンがある路面をそのまま進行してカーブも進行して止まりきれずに衝突して、他の車にも影響が出た。まあ、交通事故はあの確かに起きてるんですけども、さらにそれにですね、ええ、1本道なものですから、交通事故が発生した時に大渋滞を引き起こしてしまうんですね。で、レッカー作業等々を含めましたら、平気で2時間3時間の大渋滞が起きて、他の方達にも影響が出てしまうという現実があります。ですので地元の方は大丈夫です。全然全く問題ありませんですが、まあ応援派遣される方達の従業員教育安全運転の教育については事前にすべきではないかと私の方では思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。倶知安警察署では以上です。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。冬季ですねニセコモデルの車両からの交通事故の発生ということで、さらに速度の超過というような情報をいただきました。で、あのニセコモデルにつきましては、本格運行始まる12月中より前に各事業者様、町の方に来ていただいて、事前の教習というところを踏まえているところでございますが、今の実際の事実上のお話を伺った中では、まだまだ不足というふうに感じているところでございますので、次の取り組みにあたりましても、関係機関協議、これから進んでまいります。その中において十分な教育というところの、新たな一手というところを進めてまいればと思ひますので、よろしくお願ひ致します。</p>
会 長	ありがとうございます。それではですね、本当にあの貴重な時間、そして

貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。本日の地域公共交通活性化協議会これで閉会とさせていただきたいと思えます。どうもありがとうございました。よろしくお願ひいたします。

閉 会